

# 事業報告書

平成 30 年度

社会福祉法人 慈協会

特別養護老人ホームサニーヒル  
特別養護老人ホームサニーヒル ユニット  
デイサービスセンターサニーヒル  
ショートステイサービスサニーヒル  
サニーヒル居宅介護支援センター  
地域包括支援センターブランチサニーヒル

## 平成 30 年度事業報告

理事長 遠山 洋一

施設長 岡寄 圭次郎

平成 30 年度の各事業部門の稼働状況につきましては、従来型特養は延べ利用者人数 18,905 名（前年 18,709 名）で 196 名の増加、ユニット型特養は延べ利用者人数 14,431 名（前年 14,251 名）で 180 名の増加となりました。ショートステイサービスは延べ利用者人数 14,652 名（前年 14,432 名）で 220 名の増加、一方デイサービスについては延べ利用者人数 2,570 名（前年 3,097 名）で 540 名の減少となりました。これは競合する施設の増加も原因の一つと考えられます。また居宅介護支援事業所は利用者数 1,339 名（前年 1,329 年名）で 10 名の増加となりました。以上纏めますと、デイサービスは、前年より減少、従来型特養・ユニット型特養・ショートステイ・居宅介護支援事業所は、前年より増加の結果となりました。今後も入院で空床となったベッドの空床利用の徹底化と共に、デイサービスの、現行のリハビリ体操・カラオケ・陶芸・書道・生け花に加えて、定期的な居宅介護支援事業所の訪問も重ね、稼働率の向上を目指します。

月に 1 回開催している運営委員会・経営会議で、理事長、施設長、幹部職員を始め、主要職員が定期的に話し合うことで意識改革を図り、稼働率の向上やコスト削減といった改善効果が現れ、今年度もお陰様で黒字決算とすることができました。

施設整備面では、職員通路入り口付近に倉庫の設置と送迎車両 2 台を購入し、リニューアルしました。また、助成金にてご利用者様の車椅子やベッド等を購入しました。

経営課題の一つとしての、慢性的な人員不足に対しては、人手が足りない時の事務職員の介護業務へ応援など、工夫して対応しております。また引き続きの求人活動は基より、2019 年度以降は毎年 5～6 名の新卒職員の採用を目指して、関連の高校・専門学校の定期的な訪問を予定しています。更に近隣地区ではトップの職員待遇を目指して、離職率を低下するなど、ありとあらゆる手段を尽して今後も有能な人材確保に努めて参ります。

最後に、平成 30 年度事業が滞り無く遂行することができましたのも、理事及び評議員各位の経営に対するご意見やご協力、また行政関係各位のご指導、更には地域の皆様方のご理解の賜物であり、心より感謝を申し上げ、事業報告とさせていただきます。

## I. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホームサニーヒル）

平成30年度の入所者は13名（29年度14名）、退所者は13名（29年度14名）となっている。入所者の平均要介護度は4である。

利用者の入所経緯としては、在宅からが9名（うちサニーヒルショートステイ利用者3名、他施設ショートステイ3名、老健1名、有料老人ホーム1名、自宅1名）、病院からが4名と、昨年度と同様在宅からの入所が比較的多く、次に病院からの入所が多い。紹介や申し込みも病院からが多くなっている。平均介護度については、H27年度から入所対象者が介護3から介護5となった事で平均介護度が上がったと思われます。

要介護度別の状況

平成31年3月31日

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男（人）	0	0	5	0	3	8
女（人）	1	0	11	15	17	44
実数（人）	1	0	16	15	20	52
割合（%）	1%	0%	31%	29%	38%	100%

### 平成29年度及び平成30年度利用人数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成29年度（人）	54	53	52	52	54	52	51	52	53	54	53	53	633
平成30年度（人）	54	53	52	52	53	53	52	53	53	54	53	52	634

### 平成29年度及び平成30年度利用日数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成29年度（日）	1,553	1,608	1,560	1,610	1,602	1,536	1,572	1,559	1,600	1,606	1,455	1,601	18,862
平成30年度（日）	1,546	1,603	1,551	1,611	1,608	1,561	1,612	1,554	1,607	1,592	1,450	1,607	18,902

### 認知症高齢者の日常生活自立度状況

ランクⅠの判断基準は、何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している状態。ランクⅡは日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の

困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる状態。ランクⅢは日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする状態。ランクⅣは日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする状態。ランクⅤは著しい精神症状や問題行動が見られ、専門医療を必要とする状態が判定基準である。提供されるサービスの例としてはランクⅢより短期入所生活介護・通所介護の必要性があり、ランクⅣにおいては、介護保険施設の利用が適当と判断される。なお、ランクⅤの段階では専門医療機関(精神科)の受診が必要となる。

既存特養における利用者の状況は、ランクⅠに属する利用者は0名で、ランクⅡに属する利用者は2名、ランクⅢは22名、ランクⅣは21名、ランクⅤの自立度に位置する利用者が7名(3月31日現在)となっている。

区分	Ⅰ	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	Ⅴ	合計
男(人)	0	0	0	5	0	2	1	8
女(人)	0	0	2	14	3	19	6	44
実数(人)	0	0	2	19	3	21	7	52
割合(%)	0%	0%	4%	37%	6%	40%	13%	100%

#### 障害高齢者の日常生活自立度状況

ランクⅥは何らかの身体障害等を有するが、日常生活はほぼ自立し、一人で外出する者が該当。ランクⅦは「準寝たきり」に分類され、「寝たきり予備軍」ともいうべきグループであり、いわゆるhouse-boundに相当する。ランクⅧは「寝たきり」に分類されるグループであり、いわゆるchair-boundに相当する。ランクⅨはランクⅧ同様「寝たきり」に分類されるが、ランクⅧより障害の程度が重い者のグループであり、bed-boundに相当する。

既存特養における利用者の状況は、ランクⅥに属する利用者が0名、Ⅶが7名、Ⅷが最も多く31名、ランクⅨが14名(3月31日現在)となっている。

平成31年3月31日現在

区分	Ⅵ 1	Ⅵ 2	Ⅶ 1	Ⅶ 2	Ⅷ 1	Ⅷ 2	Ⅸ 1	Ⅸ 2	合計
男(人)	0	0	1	1	2	3	0	1	8
女(人)	0	0	1	4	5	21	3	10	44
実数(人)	0	0	2	5	7	24	3	11	52
割合(%)	0%	0%	4%	10%	13%	46%	6%	21%	100%

年齢、性別および入所期間別区分表

平成31年3月31日現在

区 分	入所者数	入 所 期 間					
		～1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～	
～64歳	男						
	女	1				1	
	計	1				1	
65～ 69歳	男						
	女	1		1			
	計	1		1			
70～ 79歳	男	3	2			1	
	女	6	1	3		2	
	計	7	1	3		3	
80～ 89歳	男	4		1	1	1	1
	女	18	3	2	4		9
	計	22	3	3	5	1	10
90歳～	男	1			1		
	女	18	6	3	3	1	5
	計	19	6	3	4	1	5
合 計	男	8	2	1	2	2	1
	女	44	10	8	8	3	15
	計	52	12	9	10	5	16
平均年齢 男性83.39歳 女性86.95歳 総数86.4歳							
平均入所期間 男性2年2ヶ月 女性2年8ヶ月 総数2年7ヶ月							

保険者別区分表

保険者	区 分	人 数
袖ヶ浦市	介護保険利用者	34
木更津市	介護保険利用者	7
市原市	介護保険利用者	7
君津市	介護保険利用者	2
千葉市	介護保険利用者	1
船橋市	介護保険利用者	1

## I. ユニット型介護老人福祉施設（特別養護老人ホームサニーヒル ユニット）

ユニット特養は平成25年5月にオープンし、平成30年度内に入所された方は12名、退所者は12名であり、入所経緯は、在宅からが2名、障害者福祉施設からが2名、介護老人福祉施設からが5名、病院からが3名であった。

在宅介護の継続が困難となり入所を申し込まれる方が多いことは既存特養と同じであるが、今年度はショートステイ利用から入所されるケースが多くなっている。

待機者については在宅よりも退院後の受入れ希望や、ショートステイ利用から入所の希望が多くなっている。

### 要介護度別の状況

平成31年3月31日現在

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男（人）	1	1	6	5	2	15
女（人）	1	3	8	5	8	25
実数（人）	2	4	14	10	10	40
割合（％）	5.0%	10.0%	35.0%	25.0%	25.0%	100%

### 平成29年度及び平成30年度利用人数比較

平成29年度	1,200	1,231	1,153	1,214	1,193	1,115	1,230	1,165	1,214	1,202	1,099	1,235	14,251
平成30年度	1,199	1,228	1,189	1,240	1,206	1,182	1,230	1,185	1,223	1,211	1,104	1,234	14,431

### 平成28年度及び平成29年度月別稼働率比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成29年度	100.0%	99.3%	96.1%	97.9%	99.4%	92.9%	99.2%	97.1%	97.9%	99.2%	98.1%	99.6%	98.1%
平成30年度	99.9%	99.0%	99.1%	100.0%	97.3%	98.5%	99.1%	98.9%	98.6%	97.7%	98.6%	99.5%	98.9%

## 認知症高齢者の日常生活自立度状況

ユニット特養における利用者の認知症高齢者の日常生活自立度状況は、ランクⅠ・ランクⅡaに属する利用者が0名、ランクⅡbは4名、ランクⅢが18名、ランクⅣが13名、ランクMが5名(31年3月31日現在)となっている。

29年度と比較するとランクⅡaがなくなりⅡb以上に移行している。今までいなかった重度の認知症高齢者(ランクM)が5名増加しており、利用者の認知症が重度化している事を物語っている。

利用者一人ひとりに費やすケアが重度化により多くなっている事、そのため効率のよい介護サービスが必要不可欠である。

区分	正常	Ⅰ	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男(人)	0	0	0	1	5	0	7	2	15
女(人)	0	0	0	3	13	0	6	3	25
実数(人)	0	0	0	4	18	0	13	5	40
割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	45.0%	0.0%	32.5%	12.5%	100%

## 障害高齢者の日常生活自立度状況

ユニット特養における利用者の障害高齢者の日常生活自立度状況は、ランクJに属する利用者は0名、Aが7名、Bが17名、ランクCが16名(31年3月31日現在)となっている。

特徴としては、ランクBの利用者が42.5%と多く、「準寝たきり」から「寝たきり」のランクへと重度化している。歩行が出来ないのにもかかわらず、歩き出そうとしたりするため、こまめな見守り、所在確認が必要となる。また、ランクCの利用者も40%と多く、日中はベッド、食事などは介助が必要だったり重度化しているため、なるべくベッドから離れて活動できるようなケアをしていかなければならない。また、利用者の行動意欲を引き出すように配慮して重度化の防止にも力を入れなければならない。

区分	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男(人)	0	0	1	0	3	4	5	2	15
女(人)	0	0	0	6	3	7	6	3	25
実数(人)	0	0	1	6	6	11	11	5	40
割合(%)	0.0%	0.0%	2.5%	15.0%	15.0%	27.5%	27.5%	12.5%	100%

年齢、性別および入所期間別区分表

平成31年3月31日現在

区 分	入所者数	入 所 期 間				
		～1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～
～64歳	男	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0
65～ 69歳	男	1	0	1	0	0
	女	1	0	1	0	0
	計	2	0	2	0	0
70～ 79歳	男	5	3	0	1	0
	女	3	0	1	0	0
	計	8	3	1	1	0
80～ 89歳	男	6	2	0	0	1
	女	13	2	3	2	0
	計	19	4	3	2	1
90歳～	男	3	2	0	0	0
	女	8	1	1	0	3
	計	11	3	1	0	3
合 計	男	13	7	1	1	1
	女	27	3	6	2	3
	計	40	10	7	3	4
平均年齢 男性83.85歳 女性85.88歳 総数85.12歳						

保険者別区分表

保険者	区 分	人 数
袖ヶ浦市	介護保険利用者	23
木更津市	介護保険利用者	4
市原市	介護保険利用者	6
君津市	介護保険利用者	1
栃木県佐野市	介護保険利用者	1
千葉市	介護保険利用者	2
中央区	介護保険利用者	1
横浜市	介護保険利用者	1
板橋区	介護保険利用者	1



## Ⅱ. 短期入所事業（ショートステイ）

### 総括

平成30年度の稼働率は100.1%（前年比1.3ポイント増）、利用延べ人数で14,431人（前年比220人増）であり、前年度を上回る事ができ、稼働率も100%台を継続する事ができた。

要因としては、協力病院を始め、居宅支援事業所から継続的に利用者の紹介を頂けたため、昨年度より大幅に上回ったと考えられる。また、利用されている方が入院された際の空きベットを他の方に利用して頂いた事も稼働率が上がった要因として考えられる。相談のケースを分析すると、ご家族の就労による在宅での介護が困難なケース・高齢者が疾病や怪我等で入院したため退院後に急に介護が必要となったケース・介護する側が体調を崩し介護が継続的にできなくなったケース等が挙げられ、通所介護サービスを利用される方が、ショートステイサービスメインの利用に切り替えられたことが昨年と同様に考えられる。

今後も、各居宅支援事業所のケアマネジャー宛に定期的な空き状況のお知らせをすることはもとより、入院等で予期せず空きベッドが生じた場合は、その都度電話、メール、FAXを駆使し、こまめに外部のケアマネジャーに通知していき、空きベッドを有効に活用し稼働率の落ち込みを防ぎ、安定した稼働の確保に努めていく。

### <年間利用状況集計>

（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

利用人数	571人
利用延人数	14,431人（1日平均38.2人）
稼働床数	14,600床（1日40床×365日）
稼働率	100.1%
一人あたりの月間利用日数	21.6日

### <月別利用状況>

（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人数（人）	49	49	46	50	47	48	50	45	48	48	45	46	571
利用日数（日）	1,218	1,218	1,181	1,234	1,212	1,165	1,226	1,201	1,248	1,186	1,108	1,228	14,425
稼働率（%）	100.0	100.0	100.2	100.0	100.2	100.1	100.0	100.4	100.1	100.1	100.0	100.4	100.1

※本頁中の人数及び利用者数は、予防給付・介護給付を合算したもの

シヨートステイ要介護度別の状況

4月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	4	9	18	12	6	49
割合(%)	0.0	0.0	8.2	18.4	36.7	24.5	12.2	100.0

5月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	4	11	16	12	6	49
割合(%)	0.0	0.0	8.2	22.4	32.7	24.5	12.2	100.0

6月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	2	13	15	12	4	46
割合(%)	0.0	0.0	4.3	28.2	33.0	26.0	8.7	100.2

7月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	4	12	17	12	5	50
割合(%)	0.0	0.0	8.0	24.0	34.0	24.0	10.0	100.0

8月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	6	9	17	10	5	47
割合(%)	0.0	0.0	12.8	19.1	36.1	21.2	11.0	100.2

9月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	6	10	16	12	4	48
割合(%)	0.0	0.0	12.5	21.0	33.3	25.0	8.3	100.1

4月～9月計

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	26	64	99	70	30	289.0
割合(%)	0.0	0.0	9.1	22.1	34.2	24.2	10.4	100.0

10月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	5	9	17	13	6	50
割合(%)	0.0	0.0	10.0	18.0	34.0	26.0	12.0	100.0

11月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	4	9	14	11	7	45
割合(%)	0.0	0.0	8.9	20.0	31.1	24.4	16.0	100.4

12月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	4	11	14	12	7	48
割合(%)	0.0	0.0	8.3	23.0	29.2	25.0	14.6	100.1

1月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	4	10	16	12	6	48
割合(%)	0.0	0.0	8.3	21.0	33.3	25.0	12.5	100.1

2月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	3	9	14	14	5	45
割合(%)	0.0	0.0	6.7	20.0	31.1	31.1	11.1	100.0

3月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	4	9	16	12	5	46
割合(%)	0.0	0.0	8.7	19.6	35.0	26.1	11.0	100.4

10月～3月計

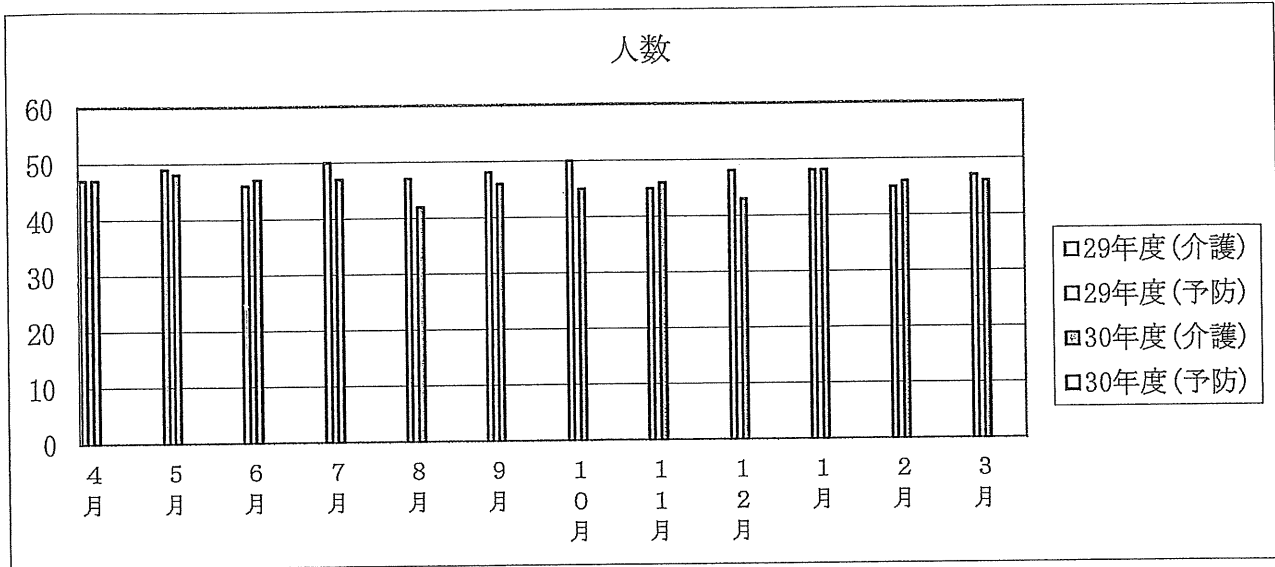
区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	24	57	93	74	36	284
割合(%)	0.0	0.0	8.2	19.4	33.0	25.2	12.2	98.0

4月～3月計

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	49	120	192	144	66	571
割合(%)	0.0	0.0	8.8	21.2	33.5	25.2	12.0	100.7

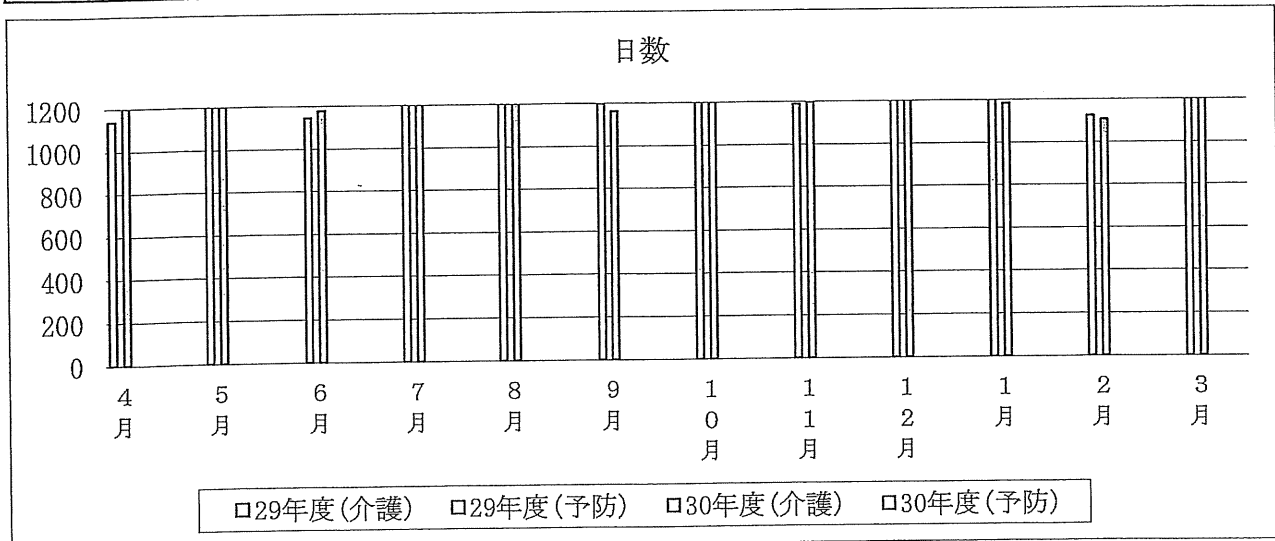
■平成29年度及び30年度利用人数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度(予防)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
29年度(介護)	47人	49人	46人	50人	47人	48人	50人	45人	48人	48人	45人	47人	570人
30年度(予防)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
30年度(介護)	47人	48人	47人	47人	42人	46人	45人	46人	43人	48人	46人	46人	551人
29年度/30年度	105.8%	101.8%	104.0%	108.5%	117.7%	90.3%	106.1%	106.1%	96.0%	94.1%	94.1%	79.6%	100.3%



■平成29年度及び30年度利用延べ日数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度(予防)	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日
29年度(介護)	1142日	1208日	1146日	1226日	1234日	1200日	1253日	1192日	1216日	1236日	1125日	1254日	14432日
30年度(予防)	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日
30年度(介護)	1218日	1218日	1181日	1234日	1212日	1165日	1226日	1201日	1248日	1186日	1108日	1228日	13027日
29年度/30年度	107.1%	106.6%	104.5%	99.9%	102.8%	95.4%	100.4%	107.2%	104.8%	106.8%	106.1%	100.4%	103.5%



### Ⅲ. 通所介護事業（デイサービス）

#### 総括

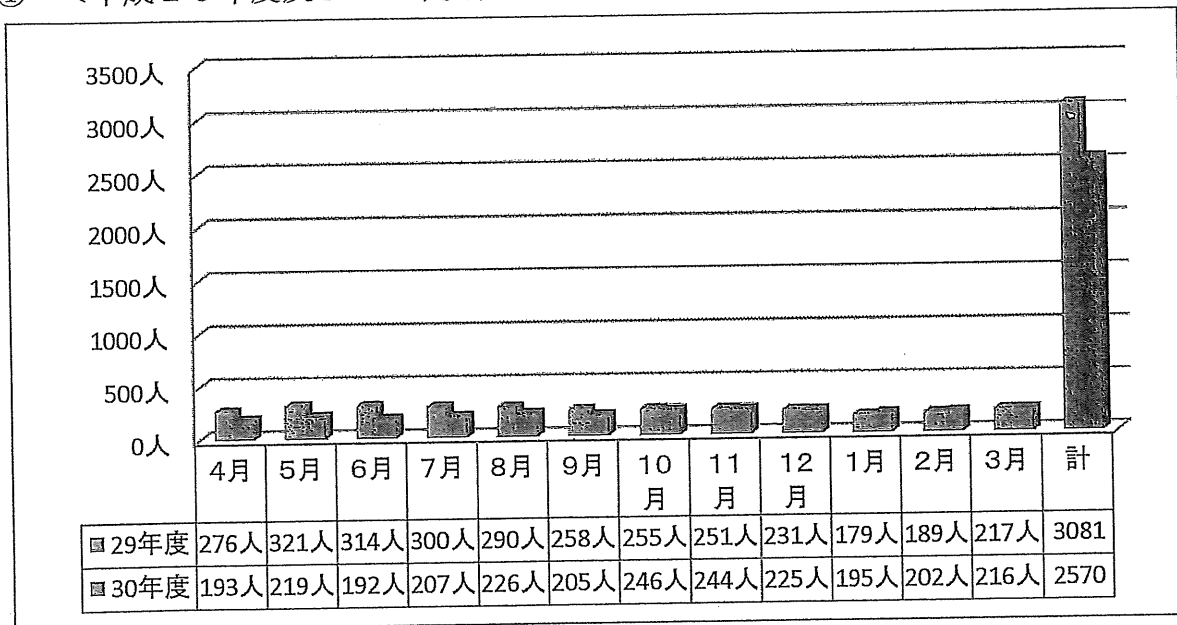
平成29年度のデイサービスの稼働実績・利用人数は、予防通所介護（要支援者）・通所介護（要介護者）合算で利用人数が401名（前年度比44名減）、延べ利用人数は2,570名（前年度比511名減）であった。利用率は前年度から比較すると83.4%と12.5%下回り、稼働率は49.6%から42.0%と7.6%下回った。

要因として、利用者の体調不良や病院への入院、デイサービスからショートステイ等への利用の移行などの利用者の利用が少なくなっている事が挙げられる。

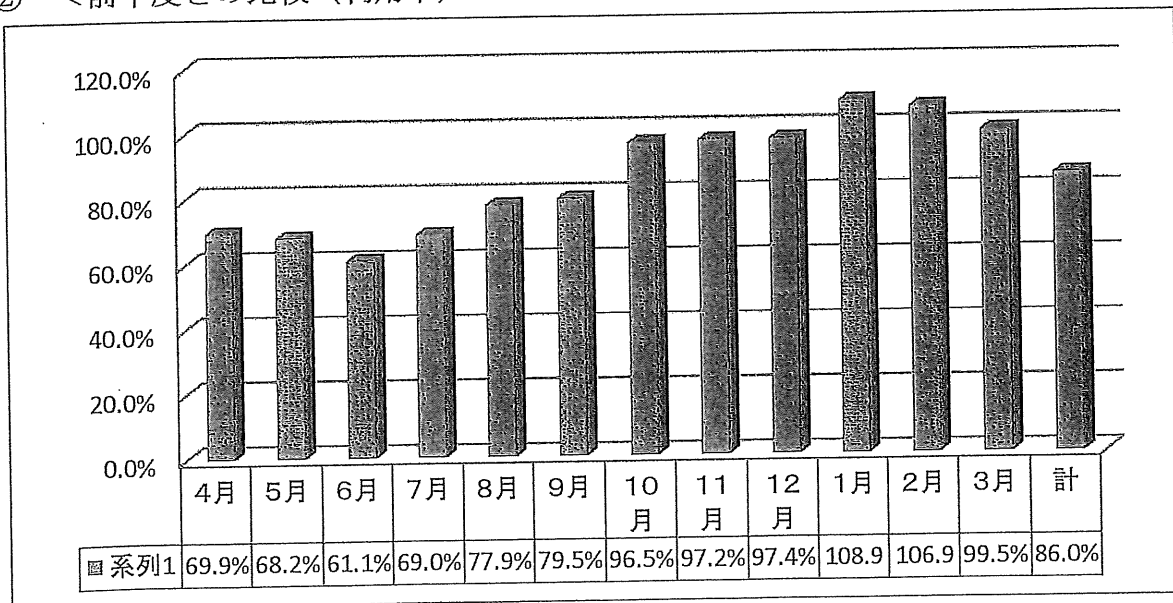
デイサービスのご利用者は利用されると継続率は高いが、体調不良や入院などがあり、稼働率は向上しない。利用率の高い利用者が入院などを繰り返すと稼働率は向上せず下ってしまう。

今後はデイサービスの日々の取り組みなどをアピールし、外部の居宅介護支援事業所により多く訪問し利用者獲得を目指し、また、意見交換を活発化させ、次代のデイサービスをどうしていくかサニーヒル全体で考えてい信頼される事業所として居宅介護支援事業所だけでなく地域から高い評価を受けられるように日々研鑽に努める。

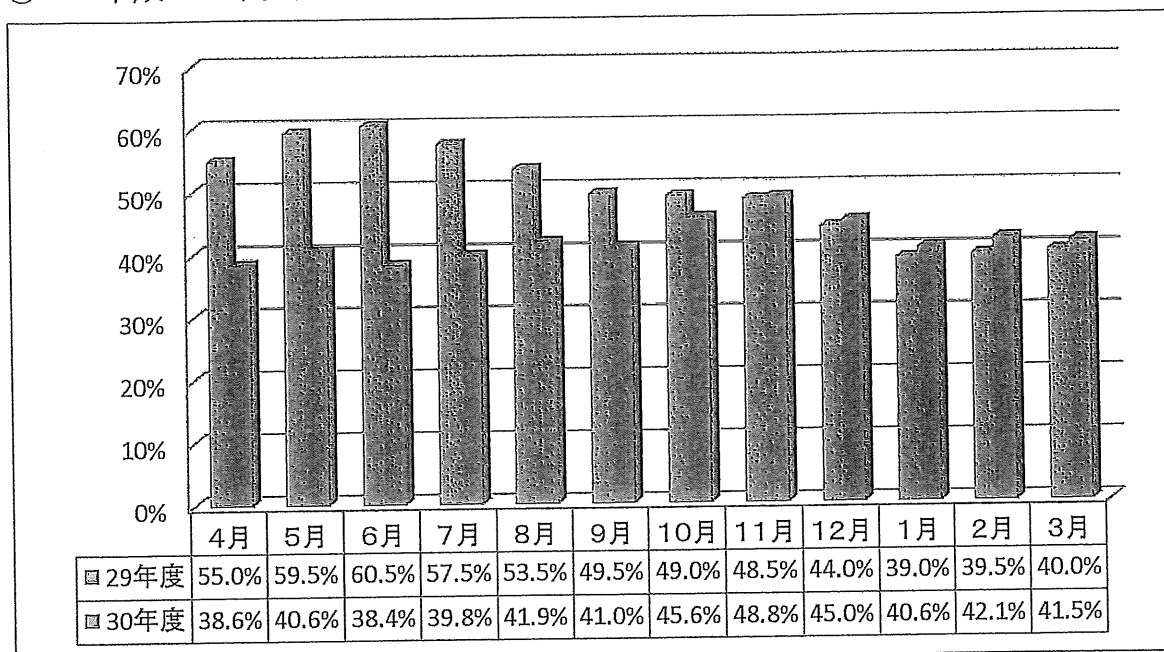
#### ① <平成29年度及び30年度利用延べ人数比較>



#### ② <前年度との比較（利用率）>



③ <平成29年度及び30年度稼働率比較>



④ <30年度要介護度状況>

介護度別利用状況

29年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	46	65	118	120	37	27	32	445
割合(%)	10.3%	14.6%	26.5%	27.0%	8.3%	6.1%	7.2%	100%
30年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	46	65	112	94	34	36	14	401
割合(%)	11.5%	16.2%	27.9%	23.4%	8.5%	9.0%	3.5%	100%
前年度比	100.0%	100.0%	94.9%	78.3%	91.9%	133.3%	43.8%	90.1%

介護度別利用状況の合計人数は利用者の数が昨年度よりも44人少なく、稼働率が下がっており、利用者の利用回数自体が体調不良等で減ってきている事が窺える。

要支援1と2は変わりがないが、介護度4以外は人数が少なくなっている。

前年比で90.1%となり、1割近く利用率は減少している。

稼働率は、昨年度と比較すると4月から10月までは減少しているが、11月以降は前年並みか増加している。

平成30年度行事実績

	主 な 行 事	定 期 行 事	そ の 他
4月	桜見物	誕生会	
5月	鯉のぼり見物	誕生会	
6月	あやめ・あじさい見物 梅ジュース作り	誕生会	
7月	流しそうめん	誕生会	
8月	夏祭り	誕生会	
9月	敬老会	誕生会	
10月	ケーキバイキング・ハロウィンゲーム大会	誕生会	
11月	焼き芋作り・紅葉ドライブ	誕生会	
12月	忘年会・クリスマス会	誕生会	
1月	初詣(姉崎神社)	誕生会	
2月	節分	誕生会	
3月	梅見物ドライブ	誕生会	

## IV. 居宅介護支援事業（居宅介護支援センター）

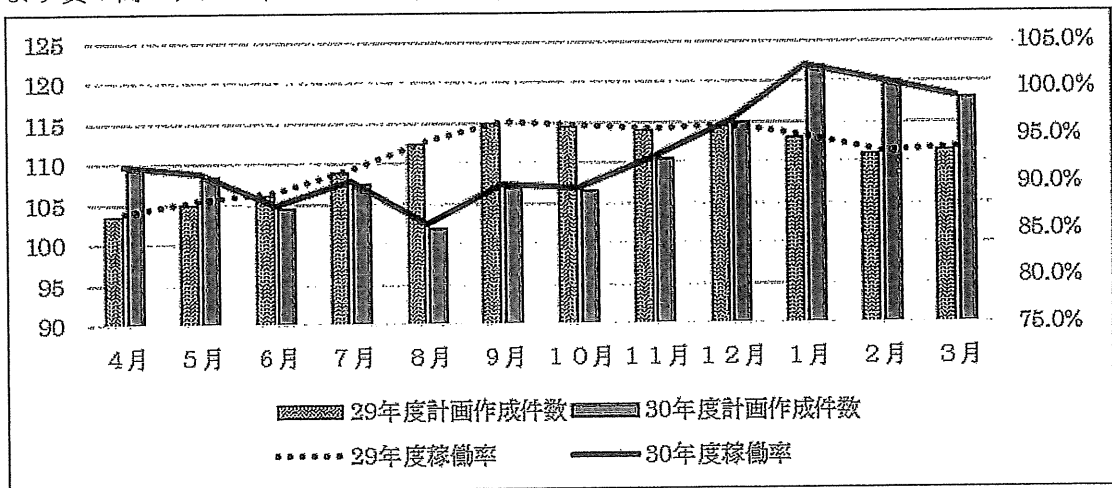
### 1. 利用実績

（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月の給付管理実績）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	96	94	90	92	88	93	92	96	99	105	104	102	1151
予防	27	29	29	31	28	28	29	29	32	34	32	32	360

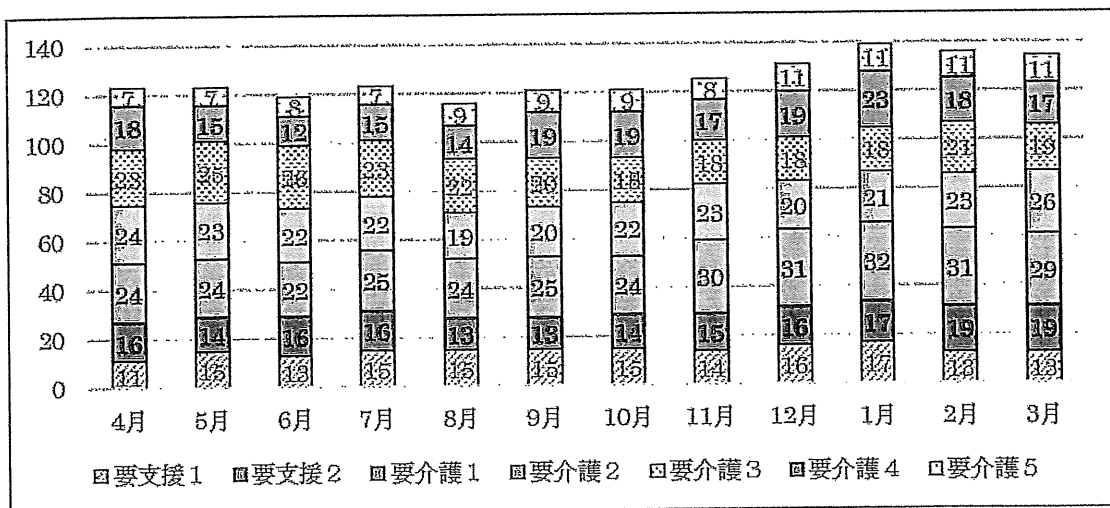
平成 30 年度の給付管理実績は介護給付 1151 件、予防給付 360 件、計 1511 件であった。総計画作成件数は、1331 件（※予防給付は 0.5 件で計上）で、前年度実績より 1.5 件増加。月平均は 110.9 件で、前年度とほぼ変わらない。年度平均稼働率は前年度実績を 0.1% ほど上回る 93.2% となっている。

しかし、平成 31 年 1 月以降に注目すると計画作成件数も増加しており稼働率もほぼ 100% を達成している。今年度はこの水準を維持できるようケアマネ各自が努力を続け、より質の高いケアマネジメントの実践に努めたい。



### 2. 介護度別利用者推移

年度末時点で要支援者の割合が 21%、要介護 1～2 の割合が 38%、要介護 3～5 の割合が 41% となっている。



### 3. 要介護認定訪問調査委託事業（委託業務）

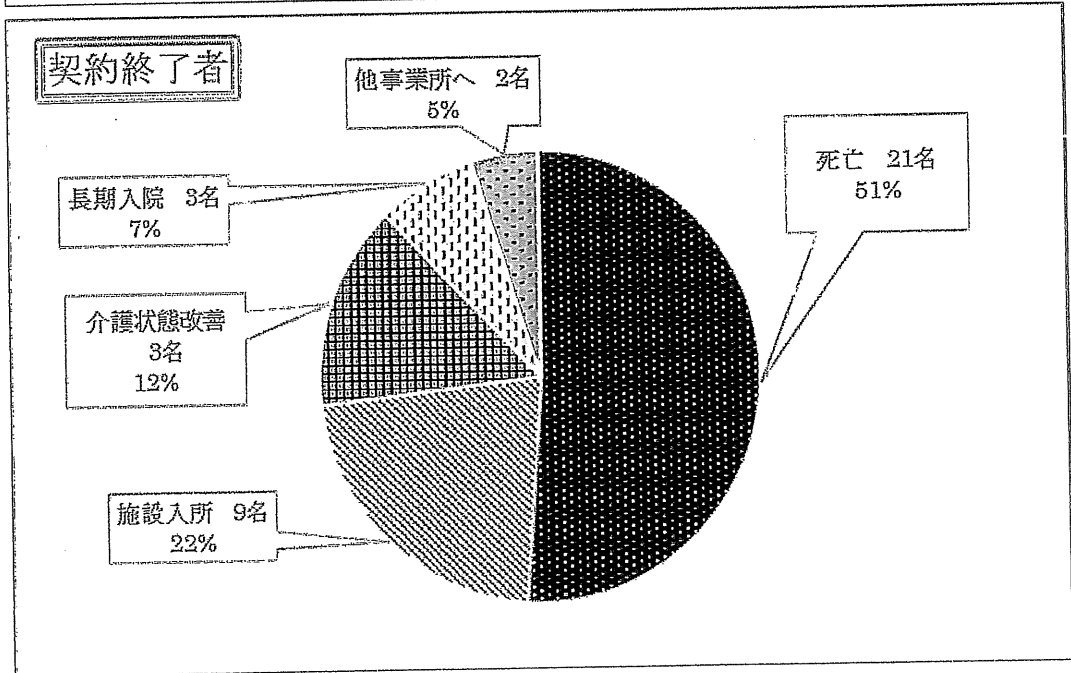
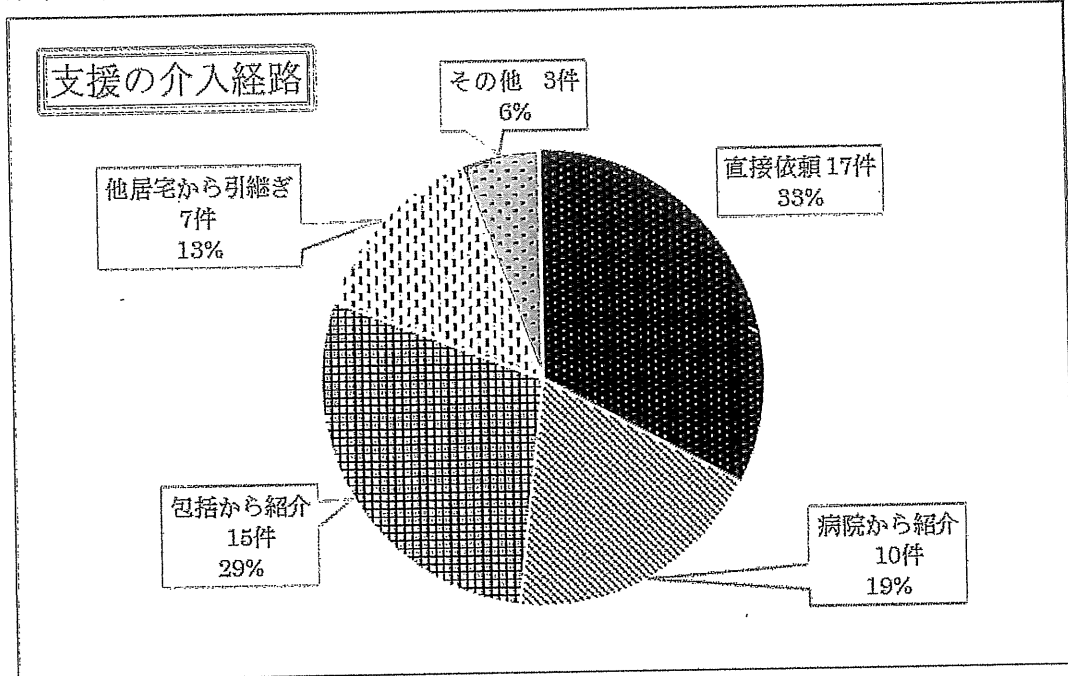
今年度の委託件数は40件であった。今後も袖ヶ浦市、他市区町村との連携の下、積極的に訪問調査を行っていきたい。

袖ヶ浦市委託件数 29件

袖ヶ浦市以外 11件

### 4. 新規契約者及び契約終了者について

今年度の新規契約者数は52名であった。新規介入経路の内訳はグラフの通りである。契約終了者は41名であり、その内訳としては死亡による支援終了が半数を占めている。





## V. 地域包括支援センターのブランチ事業

30年度の実態把握件数は前年比6.4%減の246件であった。

減少した要因として、担当の体調不良で1月度が12件しか回れなかった事、また、訪問しても留守宅が多く、時間を費やしてしまう事が挙げられる。

今後は在宅しているであろう時間帯を読み訪問し、留守宅のロスを無くし、また、地域包括支援センターと連携をとりつつ、訪問件数を増やしながらか高齢世帯の実態把握訪問を行い、援護高齢者の発見に努めたい。

### 1. 相談対応実績

	実態把握訪問時	その他	計
相談対応件数 (対象高齢者数)	246	1	245

(件)

### 2. 相談対応実績(対応延回数)

	計	対応内容別内訳		
		電話	来所	訪問
相談対応回数(延)	246	1	0	245

(回)

※同一対象者に複数回対応した場合、それぞれを1回とカウントする。

### 3. 実態把握実績

	独居	高齢者複数	その他	計
新規	14	232	0	246
再訪問	0	0	0	0
計	14	232	0	246

(件)

※今年度に限らず過去に一度でも実態把握をしている場合は、再訪問とする。

# 給与栄養量

H30. 4. 1~H31. 3. 31

月	熱量 kcal	蛋白質 g	脂肪 g	カルシウム mg	ビタミン				食塩 g
					レチノール $\mu$ g	B1 mg	B2 mg	C mg	
H30.4	1,466	67.3	32.3	738	796	1.27	1.33	119	8.9
7	1,444	66.8	30.6	715	802	1.24	1.33	117	8.7
10	1,461	65.1	32.7	709	789	1.24	1.33	113	8.7
H31.1	1,470	65	33.5	712	777	1.2	1.29	114	8.6
月平均	1,460	66.1	32.3	719	791	1.24	1.32	116	8.7
摂取基準量	1,400	60	31~47	700	800	1.20	1.30	100	8

## 主食種類別状況

H31. 3. 31現在

区分	流動食 (濃厚)	ミキサー食	全粥	軟飯	常食	計
A・B棟	5	6	19	12	10	52名
C棟	2	5	18	6	9	40名

## 副食種類別状況

H31. 3. 31現在

区分	常食	一口大	きざみ	極きざみ	ミキサー	流動食 (濃厚)	計
A・B棟	5	4	13	19	6	5	52名
C棟	5	2	10	15	6	2	40名

# 入所者嗜好調査結果

平成 31 年 3 月 31 日

食 品 名	食べられない人	率 (%)	代 替 食
牛 乳	3 名	3	コーヒー・紅茶・ジュース
納 豆	14 名	15	卵料理
パ ン	8 名	8	ごはん、粥
麺 類	17 名	18	ごはん、粥
刺 身	1 名	1	甘塩鮭
鯖	3 名	3	甘塩鮭、卵料理
肉類	1 名	1	卵類、魚缶類
カレー	4 名	4	肉じゃが
トマト	1 名	1	じゃがいも、アスパラ等
グレープフ ルーツ	6 名	6	果物缶
梅干し	4 名	4	塩分制限の為なし

※ 入居者の平均年齢は男 84 歳、女 85 歳と共に 80 歳を超え、それに伴い副菜の形態も常食が 10 名 (17 名)、一口大が 6 名 (14 名)、きざみが 23 名 (7 名)、極きざみが 34 名 (33 名)、ミキサ一食 12 名 (16 名) と約 8 割の方達は料理の形態を崩した食事での対応となっている。カッコ内は平成 29 年度の実績報告時の人数になっており、今年度の方が常食・一口大が減り、きざみ・極きざみが多くなっている。認知症の進行と平行し BMI18.5 以下の方が増加の一途をたどっている。高齢にともない認知症も進行しており、ミキサ一食の増加、嗜好面の意思表示の低下、味覚の鈍化も顕著になっている。反面、偏食が是正され栄養素バランスが向上している。しかし、咀嚼、嚥下低下のため摂取量の低下による必要エネルギー量の確保が困難である。一方で、少人数だが肥満傾向の体重増加の予防、機能低下を予防する為ハビリや体操なども積極的に取り組んだ。さらに誤嚥の為、主食の麺類等が摂取困難のため禁止食となるケースが増加傾向を示し食事メニューの選択幅が減少している。また医薬品の関係で一定の食材が禁止になる場合も多くなってきており納豆やグレープフルーツなどが禁止となる人数も増加傾向にある。

## 行事食の状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日

行 事	月 日	献 立 内 容
花見	4月7日	お汁粉
創立記念日	5月12日	紅白饅頭 昼食：ご飯、すまし汁、お刺身、煮物、あんみつ
あやめ見物	6月上旬	袖ヶ浦公園にて：アイス
夏祭り	7月22日	A棟2階 わたあめ、かき氷、ソース煎餅、
	7月22日	A棟3階 わたあめ、かき氷、駄菓子
	7月8日	B棟 ベビーカステラ、かき氷、ジュース、駄菓子
	7月19日	C棟1階 焼きとうもろこし、かき氷
外食	7月2、5、16日	C棟2階 菜心味へ外食
敬老会	9月9日	昼食：赤飯、天ぷら盛合せ、茶碗蒸し、ほうれん草の胡麻和え、お吸い物 A棟 和菓子、水ようかん、果物とゼリー盛り合わせ、お煎餅、駄菓子、チョコレート、お茶
	9月7日	C棟1階
	9月20日	C棟2階 昼食：松花堂弁当、お吸い物、和菓子(ねりきり)
	9月30日	B棟 和菓子、洋菓子(ムース)、お煎餅、駄菓子、お茶
お彼岸	9月23日	おはぎ(代替食：お汁粉)
クリスマス忘年会	12月16日	A棟2階、 A棟3階、 B棟 C棟1階 昼食：オムライス・スープ・ブロッコリーサラダ・りんご おやつ： クリスマスケーキ
	12月20日	C棟2階 昼食：肉うどん・山芋の短冊揚げ・茶碗蒸し・果物 おやつ： クリスマスケーキ
年越しそば	12月31日	昼食：年越しそば、肉団子、果物缶

お正月	1月1日	昼食：赤飯、清汁、おせち盛り合わせ、 卵豆腐、果物缶 ※三箇日は各階に温州ミカン1箱を配布 甘酒、葛餅風、どらやき、和菓子、お汁粉、玄米茶
七草粥	1月7日	朝食：七草粥、味噌汁、あんかけ豆腐、なめ茸和え
節分	2月3日	A・B・C棟 昼食：恵方巻き・清汁・根菜煮・ムース
ひな祭り	3月3日	A・B・C棟 昼食：ちらし寿司、清汁、ジャガイモの含め煮、 ムース おやつ：甘酒
お彼岸	3月21日	おはぎ（代替食：お汁粉）
誕生日会	AB棟：月毎に設定 C棟：毎月第4木 曜日	ケーキ、お茶

## VII. 健康管理

### 特別養護老人ホームサニーヒル 入院者個別状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日

	氏名	入院日	退院日	入院日数	入院理由
1	S K	30.5.12	30.5.26	15	肺炎・尿路感染
2	M M	30.6.15	30.7.24	39	胆管炎・閉塞性黄疸
3	A S	30.7.10	30.8.2	24	肺炎
4	Y T	30.10.31	30.11.24	25	胸水
5	S S	30.12.15	31.1.5	21	肺炎
6	T K	31.3.16	31.3.30	15	肺炎
30年度延べ入院者数 26人 述べ入院日数 461日間					

### 特別養護老人ホームサニーヒル 入所者の疾患状況

平成31年3月31日現在

	疾患名	男	女	計
循環器系	高血圧	3	20	23
	心疾患	2	4	6
呼吸器系	気管支喘息 他	0	1	1
中枢神経系	脳梗塞	2	7	9
	パーキンソン病	0	1	1
運動器系	脊髄変形症	0	1	1
	リウマチ	0	0	0
	骨粗鬆症	0	4	4
消化器系	急性・慢性胃腸炎	1	3	4
	胃潰瘍	0	0	0
	肝・膵臓炎 他	0	5	5
内分泌系	糖尿病	2	2	4
泌尿器系	前立腺肥大症	0	0	0
	腎不全	0	1	1
眼科系	失明	1	0	1
	白内障	0	1	1
合 計		11	50	61

※合併症を含む

特別養護老人ホームサニーヒル ユニット 入院者個別状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日

	氏名	入院日	退院日	入院日数	入院理由
1	H T	30.4.19	30.4.28	10	肺炎
2	E K	30.6.30	30.7.27	28	水腎症
3	K U	30.8.1	30.8.18	18	肺炎
4	K W	30.9.3	30.9.13	11	尿路感染・脱水
5	H T	30.11.12	30.11.24	13	蜂窩織炎
6	M M	31.2.6	31.2.17	12	気胸
30年度延べ入院者数 19人 延べ入院日数 400日					

特別養護老人ホームサニーヒル ユニット 入所者の疾患状況

平成31年3月31日現在

	疾患名	男	女	計
循環器系	高血圧	5	10	15
	心疾患	2	7	9
呼吸器系	気管支喘息 他	7	0	7
中枢神経系	脳梗塞	2	4	6
	パーキンソン病	0	0	0
運動器系	脊髄変形症	0	0	0
	リウマチ	0	0	0
	骨粗鬆症	2	4	6
消化器系	急性・慢性胃腸炎	2	1	3
	胃潰瘍	0	0	0
	肝・膵臓炎 他	1	3	4
内分泌系	糖尿病	2	6	8
泌尿器系	前立腺肥大症	5	0	5
	腎不全	0	0	0
眼科系	失明	0	0	0
	白内障	0	1	1
合計		28	36	64

※合併症を含む

## VIII. 施設実習及び地域交流

### 介護実習等施設受入れ実績

施設実習生等の受入れについては、地域福祉の観点から積極的に受け入れている。年間を通じた実習生の延べ人数は下表に示す通り、専門学校・短期大学では0日、ヘルパー養成機関12日、体験学習26である。

昨年度よりも更に学生及びヘルパー養成施設共受け入れ人数が激減したが、その要因としては、25年度より介護職員初任者研修制度（旧ヘルパー2級）が導入され施設実習の義務化されなくなった事と、昨今、社会問題となっている介護現場への就業を望んでいる人が減少している為であると推察される。

福祉短大・専門学校	人数（前年度実績）	延べ日数（前年度実績）
植草学園短期大学	0名（0名）	0名（0名）
京葉介護専門学校	0名（0名）	0名（0名）
東京福祉専門学校	0名（0名）	0名（0名）
計	0名（0名）	0名（0名）

ヘルパー養成施設	人数（前年度実績）	延べ日数（前年度実績）
ニチイ学館	0名（0名）	0日（0日）
三幸福祉カレッジ	6名（6名）	6日（12日）
計	6名（6名）	6日（12日）

介護体験	人数（前年度実績）	延べ日数（前年度実績）
日本経営協会（県新採職員研修）	19名（22名）	6日（22日）
計	19名（22名）	6日（22日）



### 地域ボランティア受入れ実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
延べ人数	15人	15人	20人	19人	19人	30人	118人
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数	23人	22人	0人	0人	0人	14人	59人

年間受入れ延べ人数	177人
-----------	------

※前年度実績 220人

### クラブ活動状況

クラブ名	1回あたりの参加人数			指導者名	開催状況
	男性	女性	合計		
生け花クラブ	0人	4人	4人	鈴木 江美子	月1回
書道クラブ	5人	15人	20人	鈴木 喜子・岩井 綾子	月2回
朗読クラブ	8人	20人	28人	ボランティア	月1回
歌クラブ	8人	20人	28人	ボランティア	月1回

IX. 行事運営等活動及び保守整備状況

年間行事運営活動実績一覧

	健康管理 リハビリテーション	衛生管理 災害対策	行事 レクリエーション クラブ等	会議・研修会等
4 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 入所者定期検診 (春季) (年1回実施)  ※血圧測定、 健康相談随時  職員(直接処遇) 定期検診 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	お花見 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 栄養士研修会 給食会議 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 全体会議 君津木更津認知症対策連絡協議会
5 月	リハビリテーション (毎週日曜日)  職員(直接処遇) 定期検診  散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検 キューピクル定期点検	端午の節句 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ 創立記念日	給食会議 生活支援会議 ケース会議 袖ヶ浦市ケアマネ連絡協議会 運営委員会 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会
6 月	リハビリテーション (毎週日曜日)  散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 冷暖房切替 消防設備点検 地下貯蔵タンク清掃	あやめ見物 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会
7 月	リハビリテーション (毎週日曜日)  散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	七夕会 夏祭り 誕生会 久保田保育所来訪 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	全体会議 生活支援会議 ケース会議 ケアマネジメント研修会 給食会議 給食施設管理者従事者研修会 袖ヶ浦市ケアマネ連絡協議会 運営委員会 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会

	健康管理 リハビリテーション	衛生管理 災害対策	行事 レクリエーション クラブ等	会議・研修会等
8 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 避難訓練	誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 ケアマネジメント研修会 給食会議 経営委員会 ヒヤリハット・事故報告委員会 指導監査
9 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 職員定期検診	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	敬老会 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 ケアマネジメント研修会 経営委員会 ヒヤリハット・事故報告委員会
10 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 職員定期検診 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 避難訓練	運動会 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ 久保田保育所来訪	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 経営会議 給食会議 袖ヶ浦市ケアマネ連絡協議会 市原市ケアマネ連絡協議会 ケアマネジメント研修会 ヒヤリハット・事故報告委員会 全体会議 君津木更津認知症対策連絡協議会
11 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ 焼き芋	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 経営会議 給食会議 ケアマネ現任研修 ヒヤリハット・事故報告委員会

	健康管理 リハビリテーション	衛生管理 災害対策	行事 レクリエーション クラブ等	会議・研修会等
12 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 避難訓練	忘年会 クリスマス会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 全体会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会
1 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	初詣 新年会 鏡開き 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 全体会議 給食会議 市原市ケアマネ連絡協議会 ヒヤリハット・事故報告委員会 経営委員会 感染症対策研修 介護認定審査会委員研修
2 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 消防設備点検	節分 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議、給食委員会 栄養士協議会研修 給食施設管理者従事者研修 袖ヶ浦市ケアマネ連絡協議会 市原市ケアマネ連絡協議会 介護認定調査委員現任研修 ヒヤリハット・事故報告委員会
3 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検 避難訓練	雛祭り 誕生会 お茶会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 君津郡市老人福祉施設連絡協議会

設備機器導入ならびに保守整備状況一覧

年 月	件 名	内 容
30. 5	・職員通路付近の倉庫設置	・物置倉庫が不足している為
30. 9	・送迎車両の入れ替え	・老朽化した車両を更新し、送迎の円滑化を図る
31. 1	・ご利用者の車椅子とクッション	・ご利用者の健全な生活の為
31. 3	・ご利用者のベッド	・ご利用者の健全な生活の為